

大学院概要

5年一貫のリーダー育成プログラム。世界で活躍する人材を輩出。

海外の現場で「武者修行」。国際機関、NGO、企業などで実践経験を積む

分野を超えて視野を広げる「八思」。各界のリーダーと議論を深める「熟議」。

ここがポイント

世界に通じる実践力を育む

世界を舞台に活躍するグローバルリーダーの育成を目指し、2013年に開設された京都大学大学院総合生存学館（思修館）。5年一貫の博士課程（2年間で修士号の取得も可能）で、学生は合宿型施設を拠点に切磋琢磨し、研究と実践を重ねていく。

文系・理系の枠を超えて総合的な知を身につける「八思」、各界のリーダーと徹底的に議論する「熟議」が思修館の特徴だ。「八思」は、「医薬・生命」「人文・哲学」「情報・環境」など8分野から専門以外の分野・科目を選択し、履修する仕組み。

5年間を通し、実践力を養うことも常に意識されている。1～2年次は、国内外でボランティアを経験する「サービスマーケティング」を行う。3～5年次には、海外で約1年間活動する「武者修行」が必須。国際機関や

国際NGO、企業などに身を置き、調査や政策立案などの実務に携わる。さらに、PBR（プロジェクト型研究）と呼ばれる実践があり、学生が自ら企画、資金調達から始めて、シンポジウムの開催や企業・官公庁との協働プロジェクトなどを実現させる。

修了後の進路は起業家、国際機関の職員など多彩。休学し、外務省在外公館専門調査員として海外赴任した学生もいる。経験を生かす道も、学生自身が切り開いている。



学生は積極的に海外へ飛び出す

教授陣の声

私の専門は、地球環境問題を含めた資源・エネルギー政策です。授業では、企業や省庁などの第一線で活躍する人々を招き、立場を超えて自由に議論することを重視しています。「知は現場にあり」を信条とし、工場などの現場に足を運ぶことも意識しています。

創設から5年で、思修館の目指すものが国内外に浸透してきたと感じます。今年迎えた19人の新入生のうち、約半数は外国人学生。「武者修行」の場となる国際機関や企業も、学生自身が開拓し、ますます多様になっています。



「知は現場に」が信条
武者修行の場は多様化

櫻井 繁樹 先生
Sakurai Shigeki
総合生存学館(思修館) 教授



京都大学大学院

総合生存学館（思修館）



大学院情報

取得可能な学位：
修士（総合学術）、
博士（総合学術）

所在地：〒606-8306
京都市左京区吉田中阿達町1
東一条館1階

Tel: 075-762-2001
E-Mail: info.shishukan@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

定員：20人
学費：54万円
奨学金：あり



在學生に聞きました

米国の大学を卒業後、日本で6年余り、社会人経験を積みました。国際会議の運営などに関わる仕事の後、外資系企業で企業のコンプライアンス（法令遵守）に関する業務を担当。実務経験の中で、公共性というテーマに哲学、倫理の面から迫りたいと考えるようになり、理論と実践の両方にまたがるこの研究を深められる場として、たどり着いたのが「思修館」です。学際的な議論や実践、共同研究を通じて、総合的に問題に取り組みことの重要性を実感しています。

クト型研究（PBR）として、UNESCOと連携したシンポジウムも開く予定です。これまでの経験を通して、実務家や多彩な研究分野の専門家と協働しながら、複雑な問題に対応する能力が養われてきた手応えを感じます。

UNESCOで実践力磨く
社会への貢献見据えて



奥井 剛 さん
Okui Go
博士課程 5年



「武者修行」の様子